

平成30年11月13日（火）

午後 1時30分 開会

午後 2時10分 閉会

場所 : 全員協議会室

〔報告案件〕

1 3か年実施計画について

竹部益世企画部長：資料に基づき説明

中川健一議員：今回の3か年実施計画について教育、子育て事業に熱心に取り組んでいると説明がありましたが、一方で「住みよさランキング」（東洋経済新報社）においては近隣の東海市、大府市、常滑市などは上位にいますが半田市は低い順位にあります。今回の3か年実施計画で、近隣の東海市、大府市と比較し半田市が特に優れている点がありましたら具体的にお示してください。

竹部益世企画部長：ランキングについては市民それぞれの取り方がありますので意識をしてはおりません。先ほどもご説明しましたように、「市民に選ばれるまち半田」を目指し、全体の底上げを図ることに取り組んでいます。

中川健一議員：それは結構ですが、近隣市町との比較で住んでいる人は変わると思えます。なぜ、その点を考えずに政策展開を行うのか疑問を感じます。

榊原純夫市長：考えています。

中川健一議員：そうであれば、近隣市町と比べ、教育、子育て事業において今回力を注いだ結果、素晴らしくなった点をお示してください。

榊原純夫市長：既に様々な施策を実施し、誇れるものと考えていますが、先ほど計画の概要説明でもお示ししましたとおりコミュニティスクールの実施や特別支援員の充実など他市町にはない、良い施策だと思っております。

中川健一議員：説明資料の2頁に小中学校舎を始めとする公共施設の更新について触れており、まずは学校施設の更新が必要であると思っておりますが3か年実施計画の中にはほとんど載っていません。その点について今後どのようにしていくか検討されているのであれば具体的にご説明ください。

岩橋平武教育部長：3か年実施計画では、平成31年度に乙川中学校の基本設計、32年度に乙川中学校実施設計、亀崎小学校の基本設計、33年度には乙川中学校の改築工事が計上してあります。小中学校全体の計画については現在最終調整を行っておりますので平成31年3月頃には議会にお示ししたいと考えております。

2 第2次健康はんだ21計画中間評価及び計画見直し（案）及び半田市自殺対策計画（案）に係るパブリックコメントの実施について

笠井厚伸健康子ども部長：資料に基づき説明

加藤美幸議員：健康はんだ21計画の見直しについて、健康づくりの推進において市民ボランティアの活動が重要であると思っております。半田市民健康づくり推進協議会を始め健康や食育など様々な活動団体の高齢化、会員数の減少の課題があると思っておりますが、そういった「人」に対する施策はこの見直し案に記載されてい

ますか。

笠井厚伸健康子ども部長：計画の中ではご協力いただく方にかかる具体的な対策の記載はありません。実際に施策の実施の中では、そういった点も含め、関係機関と調整を行っていくこととなります。

加藤美幸議員：「健康フェア」がなくなるなど市の健康施策も大きく様変わりしました、また、市民ボランティアも高齢化、女性の比率が高いなどの課題があります。男性や若い世代の参加意識の向上を図る必要があると思います。多様化した社会ニーズに応えられるよう関係機関と綿密な連絡調整を行い、意見を聞くことが必要だと思いますがいかがお考えですか。

笠井厚伸健康子ども部長：そういったご意見については、健康はんだ21計画を推進していく中で関係機関の皆様と相談をさせていただき、お聞きしていきたいと考えています。

[その他]

- ・ 市役所庁舎設置のカヤバシステムマシナリー株式会社製造の免震装置について
山本卓美総務部長：資料に基づき説明

質疑なし

- ・ 常滑市・半田市 医療提携体制等協議会の検討結果について

竹内甲司病院事務局長：

石川英之議員：説明では、協議会が検討結果を両市の市長に対し提言をされたということですが、その中で「新たな組織を設置し」という文言があります。この組織の設置の有無、設置時期など具体的に決定している事項があるのか、また設置した場合この組織が再び両市の市長に対し提言を行うのか、最終的にどういった形で進めていくのかをお示してください。

榊原純夫市長：新たな組織については年内の設置を考えております。両市長が組織に入るかは未定ですが、両市長の責任の基に2病院の関係をどうしていくかを詰めていく場になると考えております。(新たな組織の)協議の結果を以て、具体的に進めていくこととなると考えております。

中川健一議員：「愛知県からの支援のもと」と文言の記載がありますが、具体的な支援にかかる打ち合わせ等が行われていますか。

堀寄敬雄副市長：愛知県にはいくつかの点についてお願いをしています。主に、先ほどの説明の5項目の中にもありましたように、これからの3次救急救命の機能を持った病院を単独の自治体だけで費用負担を行い支えていくのは今後の在り方としておかしいのではないかと。但し、その点を設置市である半田市や常滑市が声をあげるのには説得力に欠けるため、県から周辺自治体に対し「新しく設置される病院」への費用負担を呼びかけていただきたいと思います。また、もう1点は医師の確保について、しっかりと後方支援をお願いしたいと申し上げます。

加藤美幸議員：病院の移転に伴い半田常滑看護専門学校も移転を行いますか。

榊原純夫市長：その点については、今後常滑市と協議を行っていくことになると思いますが、現時点では行っておりません。

午後 2時10分 閉会